

# 今後の学校部活動の在り方について（たたき台）

## 1 人材バンクを含む今後の運営体制

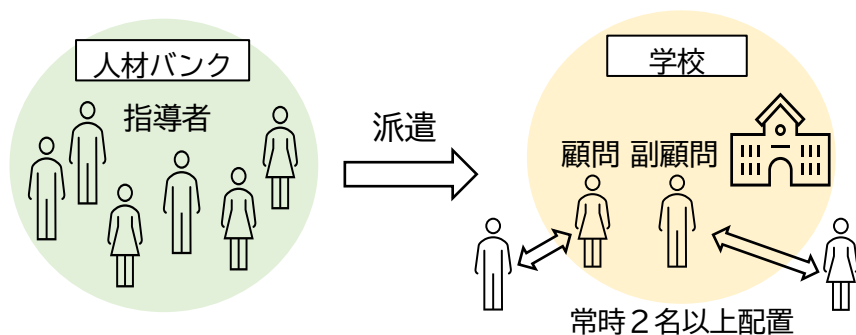
学校部活動の持続可能な運営体制の構築を図るために、地域人材の登用や指導者の研修・育成等を行う人材バンクを設置する。

また、経済的に厳しい家庭でも参加できるように支援体制を整えた上で、受益者負担として保護者に費用の一部負担を求める。

### （1）今後の学校部活動の活動形態

- ① 指導者は常時2名以上配置（顧問、副顧問）。複数人でローテーション
- ② 指導費単価は顧問：1, 600円/h、副顧問1, 000円/h（段階的に単価見直し）  
※公認スポーツ指導者資格等の取得者についての単価は加算等を検討
- ③ 指導回数は週1～5日（平日1～4日、休日1日）

#### 【イメージ図】



### （2）保護者の費用負担（受益者負担）

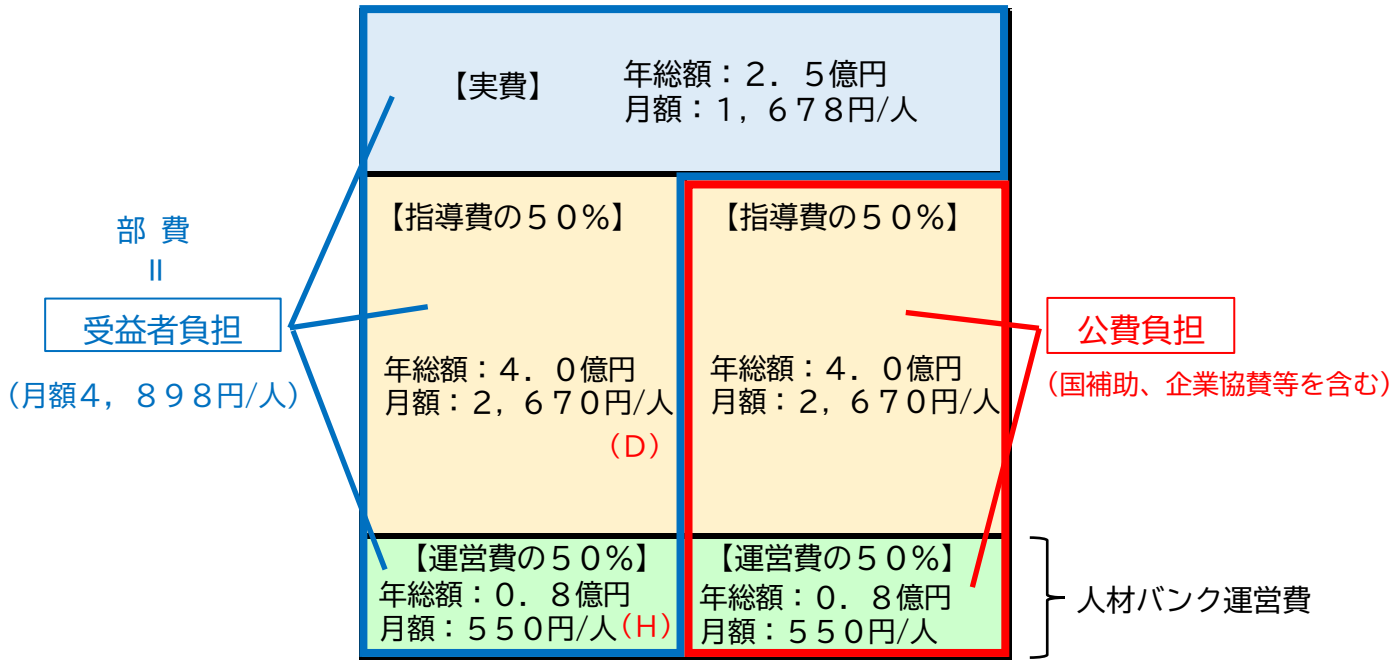
- ① 新たに発生する費用は、受益者負担を50%程度※1とする。  
⇒ 約3, 220円/月  
<内訳>
  - ・指導費：約2, 670円/月（週当たりの練習回数に応じ変動。状況に応じ見直し）
  - ・人材バンクの運営に係る費用：約550円/月（状況に応じ見直し）
- ② 実費（現行部費）※2は、現行どおり受益者負担とし、部ごとに設定する。  
⇒ 1, 678円/月（令和5年度平均額※3）
- ③ 経済的に困窮する家庭へは、支援制度を構築し費用を援助する。
- ④ 企業からの協賛金等の募集を行い、運営費の一部を賄う。

※1 放課後児童育成クラブの受益者負担を参考に算出

※2 用具費（メンテナンス代を含む）、登録費、大会参加費、消耗品費など

※3 全部活動の部費総額を部員数で除した額（前回示した額は部ごとの単純平均額）

【イメージ図】



【参考データ①：指導費（概算）】

- ・部活動数は420部で試算（R5年度の571部から約30%減を想定）
- ・活動日数は週5回、活動時間は年間735時間（現行の部活動指導員活動時間と同等）で試算
- ・顧問・副顧問の常時2人体制とする

部活動数	活動時間	指導者単価	指導費総額 (A)	部員総数 (B)	受益者負担50%	
					年額 (C=A/B÷2)	月額 (D=C÷12)
420部	735時間	顧問 1,600円 副顧問 1,000円	802,620千円	12,552人	31,971円	2,670円

※受益者負担額については、週当たりの練習回数に応じ変動

【イメージ】週1回の活動の場合（月額）：2,670円÷5=534円

【参考データ②：人材バンク運営費（概算）】

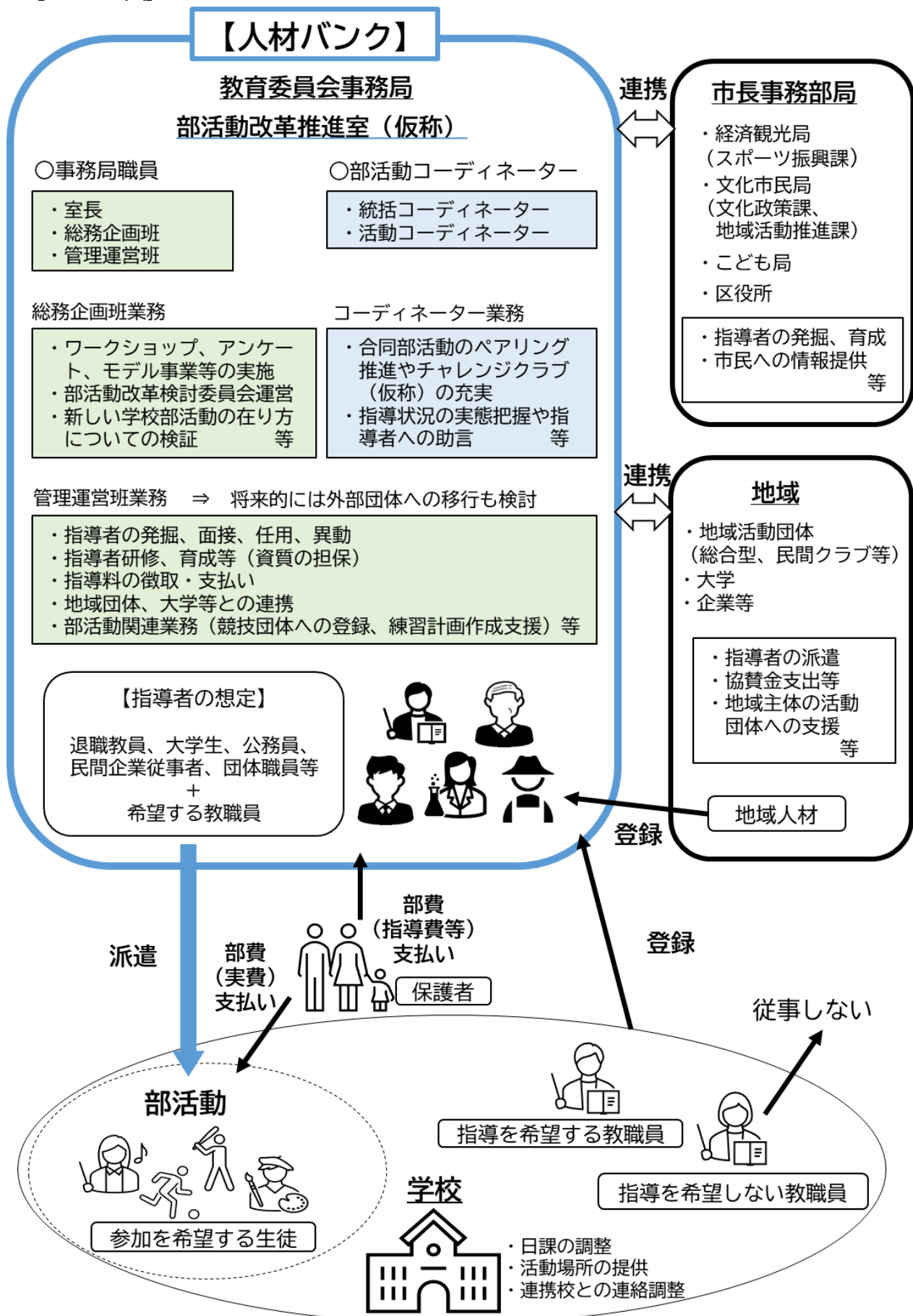
- ・職員数は25名（コーディネーター15名を含む）で試算
- ・保護者からの指導費等の徴収や指導者への支払いについてはシステムを導入し運用

人件費	システム費	総額 (E)	部員総数 (F)	受益者負担50%	
				年額 (G=E/F÷2)	月額 (H=G÷12)
124,000千円	42,000千円	166,000千円	12,552人	6,612円	550円

(D) + (H) = 3,220円

### (3) 今後の組織体制 (人材バンク)

【イメージ図】

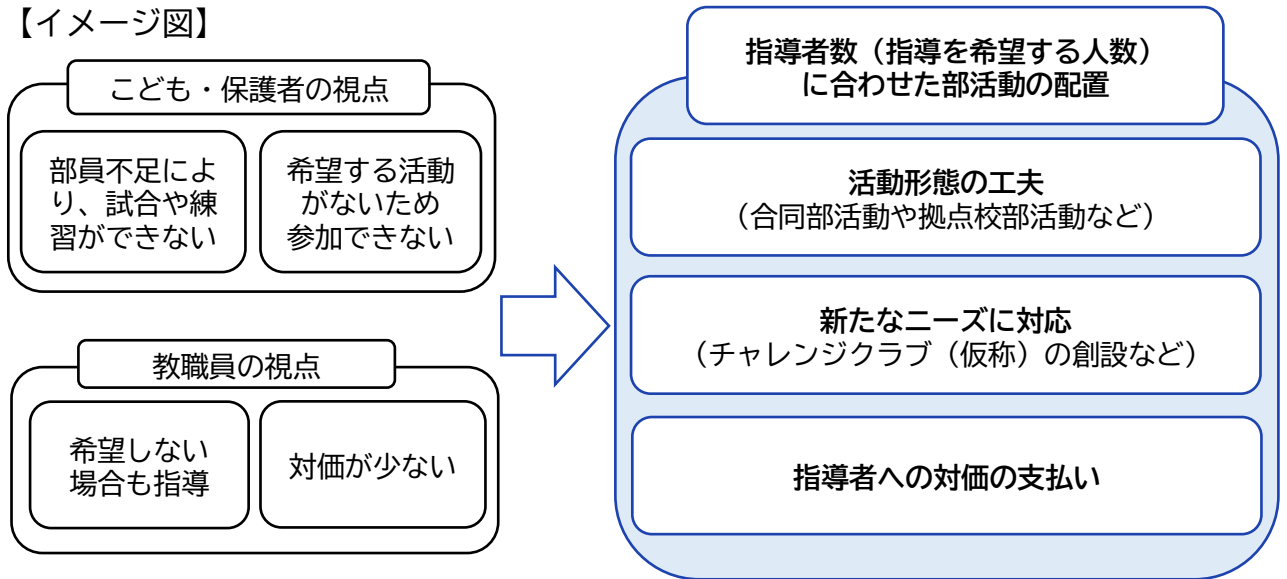


## 2 新しい学校部活動の在り方

こども・保護者・指導者全ての人に望ましい持続可能な部活動とするため、人材バンクの設置等による地域人材の活用に加え、以下の施策をモデル事業として実施・検証の上、全市的に取り組んでいく。

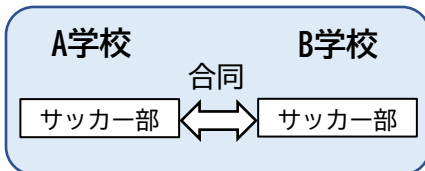
- ◎指導者数に合わせた部活動の配置（部活動数に合わせた指導者の配置からの転換）
- ◎活動形態の工夫（合同部活動や拠点校部活動など）
- ◎新たなニーズに対応（チャレンジクラブ（仮称）の創設など）
- ◎指導者への対価の支払い

### 【イメージ図】



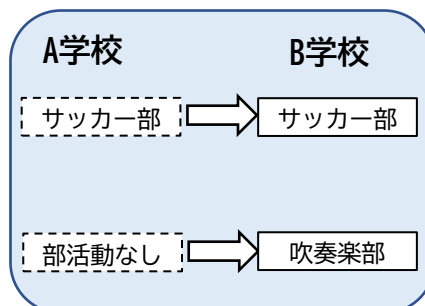
### 【具体例】

- ・2校で合同部活動として活動



※指導者を全ての活動日には配置できない場合等

- ・拠点校部活動として活動



※指導者が十分にいない場合

※部員数が十分にいない場合

※生徒の希望する部活動（種目）が自校にない場合

⇒拠点となる学校で活動

## (1) 合同部活動等の推進

学校間によるペアリングを推進し、合同部活動等をモデル事業から実施する。その後、成果や課題の検証を行い、地域、学校の実情に応じて全市へ展開する。また、部活動数の適正化も行う。

### ① ペアリングについて

- ・ 原則2校でのペアリング（3校以上の連携も可）
- ・ 直線距離3 km以内を目安とする（自転車移動可）
- ・ 活動場所は学校施設を利用
- ・ 平日を含め、練習を合同で実施
- ・ ペアリングがマッチしない学校は、土日の活動を合同で実施
- ・ 活動時間は、指導者の状況により現行どおり又は夜間

### ② モデル事業について

- ・ 優先的に部活動指導員を配置
- ・ 部活動コーディネーターによる、サポート実施（運営面、管理面、指導面等）

⇒ 成果、課題を検証し、全市展開へ

## (2) 「チャレンジクラブ(仮称)」等の創設

生徒、保護者の多様なニーズに応えるため、親しむことや楽しむことを中心とした「チャレンジクラブ(仮称)」やこれまでになかった活動等の創設を可とする。各学校や地域の実情に応じ、生徒たちが主体的に活動するなど、多様な活動を体験できる場をつくる。

### 【活動イメージ】

練習日：平日1～2日（土日は実施しない）、1～2時間

活動場所：各中学校グラウンド及び体育館等

活動例：①シーズン制で実施（1年間で2～3種目の活動を実施）

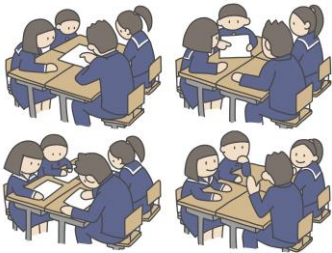
②曜日ごとに種目固定で実施（火曜日：バスケット、木曜日：サッカー等）

③ニュースポーツ等のこれまでにない活動を実施（ダンス、スケートボード等）

指導者：原則、生徒主体の活動をサポート

### 3 こどもたちとともに創りあげる学校部活動

生徒・保護者・地域住民・教職員とのワークショップやアンケート、意見交換会、モデル事業を実施し、意見等を踏まえた活動を行う。



ワークショップ

アンケート

モデル事業



等

改革へ反映

### 4 今後のスケジュール（最短例）

令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)		
検討委員会 答申	専門部署設置(直営)・運営・拡充					
	コーディネーターの配置・拡充					
	学校・保護者等への説明会					
	ワークショップ アンケート等	市の方針決定	人材バンクの設置・拡充 指導者の確保・育成・広報活動			
	市長事務局・関係団体等との協議		各種モデル事業の実施・検証			
	教職員等 支払い 法的整理		部活動ペアリング推進			
			関係団体への周知・協力依頼			
			企業等への支援依頼			
	受益者負担・報酬支払い等 制度設計・システム構築			新たな学校部活動開始	【指導費】 全ての指導者 への支払い  受益者負担 の徴収	